

a 学校教育目標	生徒一人ひとりの可能性を最大限に伸ばし、心も個性も豊かな人間の育成を図る。	b 経営理念 ミッション・ビジョン	【ミッション】(自校の使命) 地域に信頼され、生徒・保護者より高い満足度で評価される、活力ある学校 【ビジョン】(自校の将来像) 知・徳・体をバランスよく育て、社会貢献できる「生きる力」を持った生徒の育成	目指せ！ 部活動・挨拶 日本一
----------	---------------------------------------	----------------------	---	-----------------

評価計画					自己評価					改善方策		学校関係者評価		
c 中期経営目標	d 短期経営目標	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	10月	2月	i 達成度	j 評価	k 結果と課題の分析	改善方策	I 評価			コメント
					h 達成値	h 達成値					イ	ロ	ハ	
確かな学力の育成	授業規律の徹底	五中授業スタイルの徹底による授業改善	五中授業スタイルを守っていると思う生徒の割合(%) (授業開始時間 あいさつ 返事)	85	81.4		95.8	B	「授業の開始が守られている」「机上の整理」「指名されて発表する」生徒の割合は80%と高い。しかし、「授業開始終わりの挨拶」「声の大きさ」「授業中の私語」で低い結果となり、課題がある。	授業規律確立に向け、できるまで繰り返すなど、五中スタイルを意識した指導をやりきり、12月にアンケート調査を実施し、取り組みの検証を行う。	4			・家庭学習の時間を30分刻みで分布を取る必要がある。 ・数学、英語において学年が増すごとにA評価が極端に低下するのが気になる。家庭学習時間に問題があればはいないか、低学年の時に生徒にその対策を知らせるべきではないか。 ・C評定の生徒への具体的な取り組みをお願いします。
	◎学習習慣の定着	家庭学習(宿題・予習)を生かした授業展開 各教科の宿題提示	家庭学習を1時間以上やっている生徒の割合(%)	60	63.7		106.2	A	家庭学習での予習を活かした授業展開を行うことで学習意欲を高め学習習慣の定着を目指している。教員が課題を意識しやりきらせる指導を進めており、昨年度(31.9%)より向上が見られる。	予習してきたことで、授業がわかるようになったと実感させる取り組みを継続させていく。また、やりきらせるよう教科・担任・家庭間の連携を図りながら、さらに徹底させる。	4			
	基礎基本の定着	ドリル等繰り返し実施し、基礎力の定着を図る 本時の目標の提示と達成評価	B評定以上の生徒の割合(%)	75	88 67.1 75.4		117.3 89.5 100.5	B	本時の目標カードを黒板に貼ることで、教員側で書く習慣ができた。その結果、生徒も意識して授業を受けられるようになった。しかし、C評定の生徒への具体的な取り組みが早急に求められる。	授業の目標に対する達成度を把握し、事後の指導(個別指導、前時の確認など)に役立てる。	3		1	
豊かな心の育成	◎挨拶の徹底	◎挨拶の仕方の目標レベルを明確して、達成すべき挨拶を示す 職員の率先垂範	自分から挨拶が出来る(レベル3の挨拶)と思う生徒の割合(%)	60	56		93.3	B	挨拶のレベル向上に向け、朝の挨拶運動や授業の開始終わりの挨拶に取り組んだが、出ていないときの指導が不十分であった。あらゆる場面での指導が必要である。	特に授業での挨拶を徹底するため、できていない場合はやり直しをさせ、挨拶の意義等を含めた指導を必ず行う。教職員生徒とも、月1回アンケートをとり実態把握を行い、課題があれば新たな改善策を講じる。	3		1	・個人的には挨拶が良く出来ていると思うのですが、運動会等の行事の時は特別なのでしょうか。 ・生徒の社会参加を促進し多くの人たちとの交流を持つことかいるのでは。例えば町や市の体育行事などに部活動を休みにしても参加を促すことも必要ではないでしょうか。 ・課題が起きる前の日常の取り組みを強化してほしい。 ・花を植えることは情操が育つのでよい。
	積極的な生徒指導体制を確立し、豊かな心を育てる。	全生徒を対象とした面接やアンケートによる心の把握 スクールカウンセラー等を活用した教育相談活動の充実	面接週間の設定 個を対象とした教育相談委員会の開催	年3回 月2回	1回 12		100.0 100.0	A A	確実に相談活動や委員会を実施し、連絡相談等連携を密にとることで、生徒間のトラブルや問題行動も減少している。	今後も相談活動や委員会を確実に実施することを継続していく。	4			
	環境美化活動の充実	花いっぱい運動の実施 点検活動を取り入れた清掃活動	季節の花を咲かせたか	植え替え2回	1回		100.0	A	花を植え替えることができた。点検カードを使って清掃指導を行い効果が見られた。	11月にもう一度花の植え替えを行う。点検内容を充実させ、点検後の指導を工夫する。	4			
健やかな体の育成	◎部活動の活性化	部活動への参加の促進 ①部活動出席簿による出席の管理 ②放課後の部活指導の徹底	部活動に参加している生徒の割合(%)	95	94.6		99.6	B	部活動出席簿の管理が出来ていない部があり、出席していない生徒への指導が十分に行われていない。少数ではあるが細やかな指導が必要である。	各部の出席状況を月1回、全職員に周知し、確実な把握をして部活動顧問および担任が指導相談にあたることで改善していく。	4			・部活動への参加だけでなく、部活動への積極的取組をしている生徒の割合も重要だと思います。 ・部活動へ参加しないで早く下校している生徒にヘルメット着用が確実でないことが多いのではないのでしょうか。 ・部活動を充実して、個々の把握をしっかりしてほしい。
	健康教育の推進	保健だよりの発行及びSHRでの活用	保健便りを発行できたか	月1回	7回		100.0	A	計画通り保健便りを発行することが出来た。	引き続き保健便りの発行を行い、SHRの時間等を利用して、さらに保健指導の充実を図る。	4			
信頼される学校	組織的・機能的な学校経営。	起案決裁方式の徹底 外部発出文書の決裁の徹底 報告文書の起案決裁の徹底	提案・報告等の文書について、起案決裁を意識した職員の割合(%)	80	71.4		89.3	B	たより等外部発出文書は起案決裁が定着していると思われるが、企画委員会で提出される文書の事前の起案や決裁ができていない場合がある。	企画委員会での議題計画を作成し、事前に決済されるようスケジュール管理を行う。	2	1	1	・提案、報告の文書書式は市内全校で統一されているのでしょうか。
	「報告・連絡・相談」の徹底	日常的な職員間の連携 各主任の指示・助言の徹底	報・連・相を意識した連携を行ったと思う職員の割合(%)	80	86.7		108.4	A	報・連・相の徹底が必要であることの意識は定着している。	どこまでの内容を誰にしていのか等、きめ細やかな動きが取れるようにしていく必要がある。	3	1		

本年度の重点目標については◎印で示す。

[j:自己評価 評価]

A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100 C:60≦(もう少し)<80 D:(できていない)<60

[I:学校関係者評価 評価]

イ:自己評価は適正である。ロ:自己評価は適正でない。ハ:わからない。